

教科名 社会 科

### 1 授業改善の視点との方策

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味関心をもちやすいように、視覚的な教材や社会的事象を身近に感じられるような資料を用いて授業を行う。</li> <li>授業の最初の5分間などに前時の復習として行い、知識の定着を図る。</li> <li>協働学習を通して主体的で対話的な学びを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味関心をもちやすいように、視覚的な教材や社会的事象を身近に感じられるような資料を用いて授業を行う。</li> <li>小テストを月に数回、継続的に実施する。特に授業の最初の5分間などに前時の復習として行い、知識の定着を図る。</li> <li>資料から得た情報をもとに考察させる機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味関心をもちやすいように、視覚的な教材や社会的事象を身近に感じられるような資料を用いて授業を行う。</li> <li>資料内容の読み取り、視覚的な教材を活用し、そこからわかることを文章で表現させる機会を設ける。</li> </ul>

### 2 生徒の変容の状況および成果

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会科を好きになるために、知的におもしろいと思える授業作りを心がけてきた。生徒は素直な反応で、興味を示したり、示さなかったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料活用の学習では、読み取るべき視点を明確化し、資料解釈の苦手な生徒には、教員が個別に支援していく。</li> <li>知識の習得が不十分な生徒は、授業で取り上げる社会的事象の理解が不十分であることや、繰り返し学習をしていないことが原因と思われる。これらの課題を克服する指導をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や資料集にある、視覚的な教材を活用する中で、生徒たちの関心は高まっている。しかし、それが理解にまでつながっていない状況。</li> <li>進路実現に向けた受験対策の中で、資料内容の読み取り、活用の技能を身に付けさせる。</li> </ul>

### 3 次年度に向けての課題

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味関心をもちやすいように、視覚的な教材や社会的事象を身近に感じられるような資料を用いて授業に活かす。</li> <li>小テストを毎時間実施する。特に授業の最初の5分間などに前時の復習として行い、知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から得た情報をもとに考察させる機会を、授業内で多く取り入れ、多様な視点により社会的な事象を解釈できることを理解させる。</li> <li>授業内で取り上げた概念などや、指導内容を確認する場面を設定し、まとめプリントなどを活用し、知識・理解の定着を図る。必要に応じ、小テストを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを明確化したうえで、生徒が関心をもてる視覚的な教材や、社会的事象を身近に感じられるような資料を明示する。</li> <li>資料の解釈を個々の課題とするだけでなく、様々な社会的事象の捉え方を理解させ、他者に対する表現活動を活性化させる。</li> </ul>